

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、県内最大の流域面積を有する勝浦川水系について、年超過確率1/50の規模の洪水※1を安全に流すとともに、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策※2に取り組む。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修【堤防整備、河道掘削】、潜水橋架替
- ・漏水対策、危機管理型ハード対策
- ・水系内の河道掘削、樹木伐採、局所改良、維持修繕
- ・正木ダムにおける事前放流等の実施、施設更新・堆砂対策
- ・雨水排水路、農業排水路の整備
- ・排水施設、雨水排水路、都市下水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・農地保全、森林の整備・保全
- ・砂防施設の整備、維持修繕
- ・地震・津波対策 等

■事業規模
河川対策 (約65億円)
下水道対策 (約4億円)

●被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく安全でコンパクトなまちづくりに向けた取り組み
- ・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・地域の安全・安心に寄与する地域振興拠点整備の推進 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ、水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進、ファミリータイムライン等の作成支援
- ・地域住民への水教育の推進
- ・すだちくんメール、SNSや河川監視カメラによる防災・避難情報の発信
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進 等



※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)程度である洪水
※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

「電子地形図25000(国土地理院)に実績浸水範囲を追記して作成」

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、海上交通の要衝である徳島小松島港に注ぐ立江川水系について、年超過確率1／30の規模の洪水^{*1}を安全に流すとともに、太田川水系においては、過去の洪水を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策^{*2}に取り組む。

●**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

- ・河川改修【堤防整備、河道掘削、橋梁架替】
- ・水系内の河道掘削、樹木伐採、局所改良、維持修繕
- ・公共下水道の整備、排水施設の整備・耐水化
- ・排水施設、公共下水道、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・ほ場整備
- ・海岸保全施設の整備
- ・農地保全、森林の整備・保全 等

■事業規模
河川対策 (約40億円)
下水道対策 (約4億円)

●**被害対象を減少させるための対策**

- ・立地適正化計画に基づく安全でコンパクトなまちづくりに向けた取り組み
- ・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における許可の厳格化
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・地域の安全・安心に寄与する地域振興拠点整備の推進 等

●**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ、水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援
- ・地域住民への水教育の推進
- ・すだちくんメール、SNSやため池監視カメラ等による防災・避難情報の発信
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進 等



^{*1}毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／30 (3.3%)程度である洪水
^{*2}2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、明神川水系の年超過確率 $1/30$ の規模の洪水※¹を安全に流すとともに、大浦川水系・榑木川水系・栗田川水系においては、過去の浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、高潮対策やソフト対策等により、流域治水対策※²に取り組む。

位置図



明神川水系・大浦川水系
榑木川水系・栗田川水系

大浦川水系	
昭和51年9月台風第17号と豪雨	
浸水面積	4.0km ²
床上浸水	7戸
床下浸水	8戸

栗田川水系	
昭和45年8月台風第9・10号と豪雨	
浸水面積	39.2km ²
床上浸水	22戸
床下浸水	169戸

【徳島県】
海岸保全施設の整備

榑木川水系	
昭和45年8月台風第9・10号と豪雨	
浸水面積	72.1km ²
床上浸水	12戸
床下浸水	228戸

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修【堤防整備】
- ・排水施設の整備
- ・水系内の局所改良、維持補修、河道掘削、樹木伐採
- ・排水施設・雨水排水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・海岸保全施設の整備
- ・農地保全、森林の整備・保全 等

■事業規模
河川対策 (約1億円)

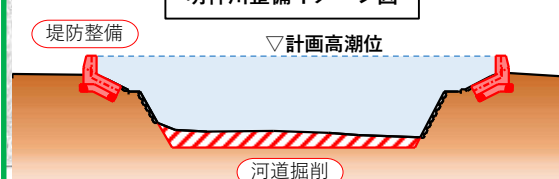
●被害対象を減少させるための対策

- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ・水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援
- ・すだちくんメール等による防災、避難情報の発信
- ・地域住民への水教育の推進
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進 等

明神川整備イメージ図



避難訓練の実施



【凡 例】

- 河川整備 (河川改修【高潮】)
- 実績浸水範囲 (平成16年台風第23号)
- 対象河川
- 流域界
- 市町村界

浸水状況



鳴門市堂浦地区の浸水状況
(令和3年台風第9号)

排水施設の整備



排水ポンプ

【鳴門市】
排水施設の整備

【徳島県】
河川改修【堤防整備】

【鳴門市】
農地保全 等

【徳島県】
河道掘削、樹木伐採
農地保全
森林の整備・保全 等

※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/30$ (3.3%) 程度である洪水

※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、過去より浸水被害に悩まされてきた福井川水系について、年超過確率1／50の規模の洪水^{※1}を安全に流すとともに、鵠川水系・椿川水系においては、過去の浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策^{※2}に取り組む。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修【堤防整備、河道掘削、橋梁架替】
- ・危機管理型ハード対策
- ・水系内の河道掘削、樹木伐採、局所改良、維持修繕
- ・準用河川の整備
- ・福井ダムにおける事前放流等の実施、施設更新
- ・地震・津波対策、海岸保全施設の整備
- ・排水施設、雨水排水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・農地保全、森林の整備・保全 等

■事業規模
河川対策 (約61億円)

●被害対象を減少させるための対策

- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ・水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援
- ・すだちくんメールや河川監視カメラ等による防災、避難情報の発信
- ・地域住民への水教育の推進
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進



浸水状況

阿南市内の浸水状況
(平成15年7月豪雨)

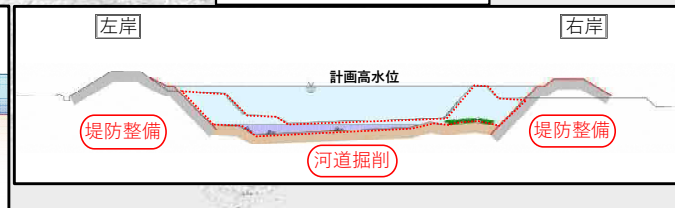
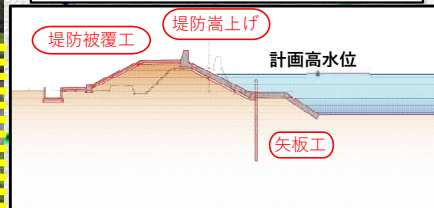


福井ダム事前放流

橋梁架替・取水堰の撤去

福井川地震・津波対策イメージ図

福井川整備イメージ図



【凡 例】

- 河川整備 (河川改修 等)
- 地震・津波対策
- ダム
- 実績浸水範囲 (平成26年台風第12号)
- 洪水浸水想定区域 (計画規模)
- 対象河川
- 流域界
- 市町村界

※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50 (2%) 程度である洪水
※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、美波町のほぼ全域を流域とする日和佐川水系について、年超過確率1/50の規模の洪水※1を安全に流すとともに、奥潟川水系においては、過去の浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策※2に取り組む。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

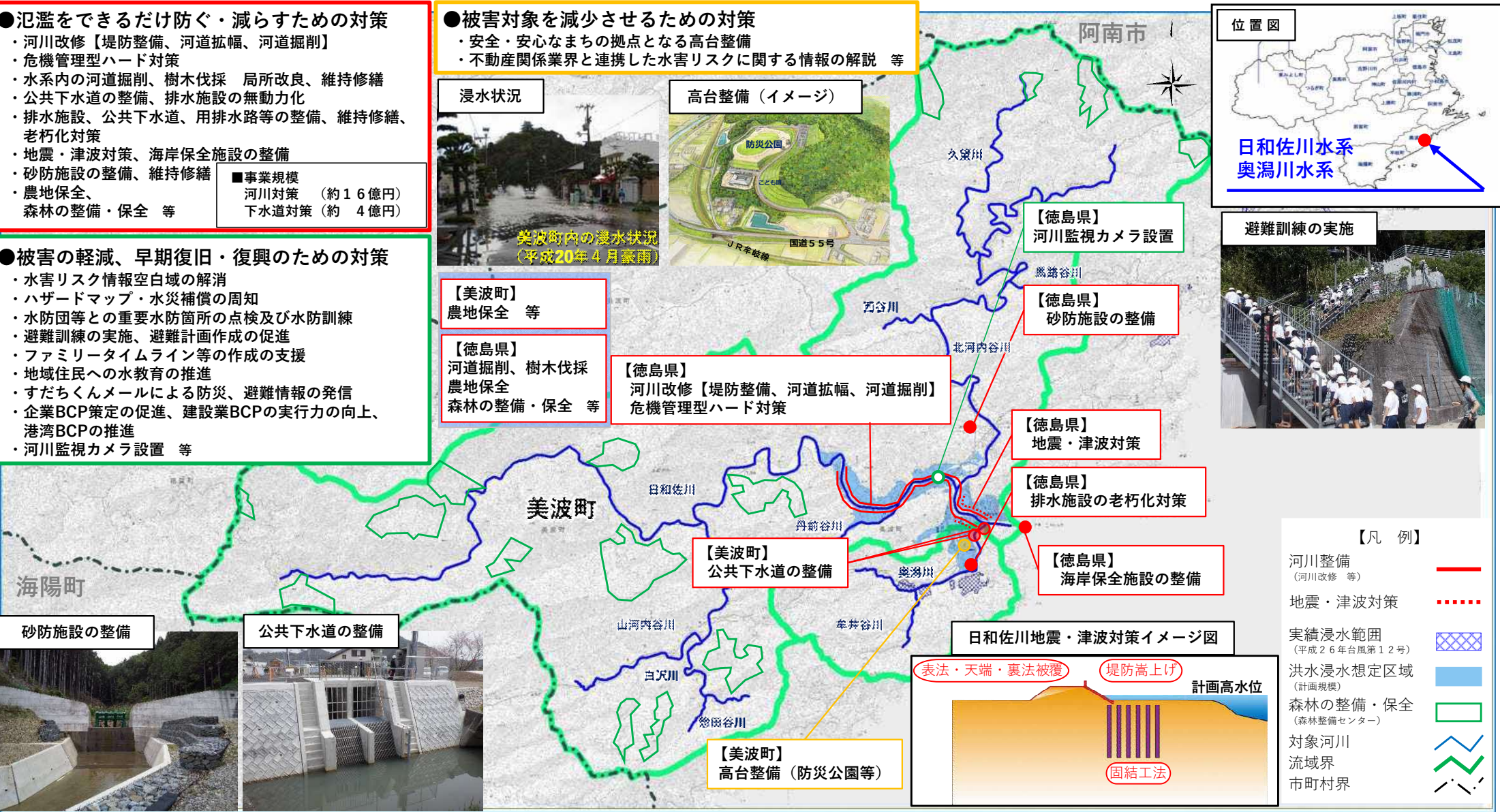
- ・河川改修【堤防整備、河道拡幅、河道掘削】
 - ・危機管理型ハード対策
 - ・水系内の河道掘削、樹木伐採 局所改良、維持修繕
 - ・公共下水道の整備、排水施設の無動力化
 - ・排水施設、公共下水道、用排水路等の整備、維持修繕、老朽化対策
 - ・地震・津波対策、海岸保全施設の整備
 - ・砂防施設の整備、維持修繕
 - ・農地保全、森林の整備・保全 等
- 事業規模
河川対策 (約 16 億円)
下水道対策 (約 4 億円)

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ・水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援
- ・地域住民への水教育の推進
- ・すだちくんメールによる防災、避難情報の発信
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進
- ・河川監視カメラ設置 等

●被害対象を減少させるための対策

- ・安全・安心なまちの拠点となる高台整備
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説 等



※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)程度である洪水
※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、牟岐町のほぼ全域を流域とする牟岐川水系について、年超過確率1/50の規模の洪水※1を安全に流すとともに、瀬戸川水系・東谷川水系においては、過去の浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策※2に取り組む。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・水系内の河道掘削、樹木伐採、局所改良、維持修繕
- ・排水施設・雨水排水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・海岸保全施設の整備
- ・農地保全、森林の整備・保全 等

■事業規模
河川対策 (約2億円)

●被害対象を減少させるための対策

- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・災害に強いまちづくりを目指した公共施設の高台移転 等

浸水状況



洪水状況



牟岐川水系	
昭和40年9月台風第23・24号	
浸水面積	1.4km ²
床上浸水	30戸
床下浸水	103戸
昭和51年10月豪雨	
浸水面積	0.6km ²
床上浸水	384戸
床下浸水	128戸

【森林整備センター】
森林の整備・保全 等

【徳島県】
排水施設の老朽化対策

那賀町

牟岐町

美波町

高瀬川

になぎ谷川

辺川

橋川

はやま谷川

牟岐川

東谷川

瀬戸川

【徳島県】
海岸保全施設の整備

瀬戸川水系	
昭和51年10月豪雨	
浸水面積	21.4km ²
床上浸水	53戸
床下浸水	71戸

東谷川水系	
昭和47年9月豪雨及び台風第20号	
浸水面積	0.1km ²
床上浸水	0戸
床下浸水	8戸

位置図



高台移転



【凡 例】

- 森林の整備・保全
(森林整備センター)
- 対象河川
- 流域界
- 市町村界

防災訓練



●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ・水災補償の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練、住民等への防災・減災の普及啓発活動、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援
- ・すだちくんメール等による防災、避難情報の発信
- ・地域住民への水教育の推進
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進 等

※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)程度である洪水

※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

「電子地形図25000(国土地理院)に実績浸水範囲を追記して作成」

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、県内でも有数の豪雨地帯にある海部川・江川水系について、年超過確率1／50の規模の洪水※1を安全に流すとともに、江川水系においては、過去の浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減を図る。あわせて、地震・津波対策やソフト対策等により、流域治水対策※2に取り組む。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修【堤防整備、河道掘削、橋梁架替】
- ・河川安全・安心協働モデル事業の推進
- ・漏水対策、危機管理型ハード対策
- ・水系内の局所改良、維持修繕、河道掘削、樹木伐採
- ・排水施設の無動力化、耐水化
- ・排水施設、雨水排水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策
- ・森林の整備・保全、農地保全
- ・海岸保全施設の整備 等

■事業規模
河川対策 (約22億円)

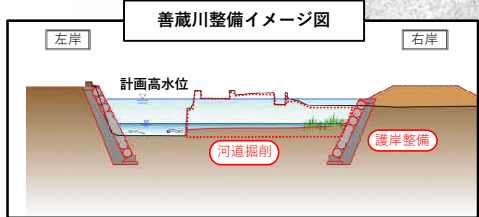
●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップ、水災補償等の周知
- ・水防団等との重要水防箇所の点検及び水防訓練
- ・避難訓練の実施、避難計画作成の促進
- ・ファミリータイムライン等の作成の支援、地域住民への水教育の推進
- ・すだちくんメールや河川監視カメラ等による防災、避難情報の発信
- ・企業BCP策定の促進、建設業BCPの実行力の向上、港湾BCPの推進
- ・河川監視カメラ設置 等

●被害対象を減少させるための対策

- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説 等

【徳島県】
河道掘削、樹木伐採
農地保全
森林の整備・保全 等



- 【凡 例】
- 河川整備 (河川改修 等)
 - 実績浸水範囲 (平成26年台風第12号)
 - 洪水浸水想定区域 (計画規模)
 - 森林の整備・保全 (四国森林管理局)
 - 森林の整備・保全 (森林整備センター)
 - 農地保全 (海陽町)
 - 対象河川
 - 流域界
 - 市町村界

【徳島県】
河川改修【河道掘削】
漏水対策、危機管理型ハード対策

【徳島県】
河川改修
【堤防整備、河道掘削、橋梁架替】

【徳島県】
局所改良

【徳島県】
排水施設の耐水化

【徳島県】
河川監視カメラ等による
避難、防災情報の発信

【徳島県】
排水施設の老朽化対策

【徳島県】
海岸保全施設の整備

江川水系	
昭和52年8月台風第7号と豪雨	
浸水面積	4.0km ²
床上浸水	2戸
床下浸水	28戸

※1毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50（2％）程度である洪水
※2具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある